

1 単元名 火事からまちを守る

2 単元の目標

火災から地域の安全を守る働きについて、消防署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、消防署などの関係諸機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関や地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知① 消防署の分布や消防設備の配置、働いている人の勤務体制、訓練、施設、設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどについて調査したり、地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、消防署や地域の人々の活動や協力を理解している。</p> <p>技① 調べたことをもとに、火事の防止についての消防署や地域の人々の取組や協力をまとめている。</p>	<p>思① 消防署の分布や消防設備の配置、働いている人の勤務体制、訓練、施設、設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>思② 学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、表現している。</p>	<p>態① 地域の人々の生命や財産を脅かす火災から、安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を立てたり、追及し、解決したりしようとしている。</p> <p>態② 学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、解説の内容(3)の地域の安全を守る働きのうちの、火災から人々の安全を守るための働きの部分の小単元である。解説では、第3学年で唯一「選択・判断」の文言がある単元でもある。児童が社会への関わり方を選択・判断するために、関係機関が地域の安全を守る目的で相互に連携していることや、関係機関や地域の人々の諸活動ひとつひとつを理解できるようにする必要がある。本単元では、地域の消防士の方のインタビューや地域資料を提示し、そこから学習問題を設定して学習していく。

(2) 児童観

実態調査の結果から、火災からまちを守る主体として、地域や自分自身を認識できていない児童が、本学級には多いことが予想できる。自分と火災との関わりをしっかりと実感させ、自分と社会との関わり方を正しく選択・判断し、それらを基に自分の考えを表現できるようにしていきたい。

質問	児童の回答
1 火事が起きた場合にかける電話番号を答えましょう。(記述式)	119番 *人 110番 *人 分からない *人 無答 *人
2 火事からまちを守ることができる人はどのような人ですか。当てはまると思うものに○を付けましょう。(複数選択可)	消防署の人 *人 警察の人 *人 学校の先生 *人 地域の人 *人 自分自身 *人 無答 *人

(R3.*.*実施 ***小学校第3学年*組*人)

(3) 指導観

本学級の児童は、消防士がまちの安全を守る職業と捉えているが、社会的事象と自分たちとの関わりについては漠然と理解している。そこで、本単元の学習を通して、自分達にもできることがあるということを実感し、社会的事象をより身近なものに感じることができるよう指導する。そのために、地域資料や地域の消防士の方へのインタビュー映像などをきっかけに、自分達の身近な地域のこととして学習を進めていく。さらに、その中で、ジグソー法を活用し、自分と地域社会との関わりを選択・判断する機会を設け、ICT機器を用いて考えたことをまとめたり、他者と対話したりする活動を通して表現する力が身に付くようにしていきたい。

(4) 単元の指導計画（7時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等	
1	1	<p>・学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 〇〇市ではどれくらい火事がおきているのだろう。</p> </div> <p>・〇〇市の年度別の火事の発生件数を示す資料を見て、気付いたことを話し合う。</p> <p>・火事の発生件数が少なかった年度について取り上げ、なぜ少なく済んだかについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 〇〇市では毎年火事が起きていて、多い年と少ない年がある。</p> </div>						<p>技①：表を年度ごとに色分けすることで、地域の火災の件数を年度ごとに読み取りやすくする。</p> <p>【発表・ノート】</p> <p>思①：火事になりそうな原因を考えてみるように声掛けをし、火事の原因を無くせるのは消防士だけでなく、まちに住む人々も関係があることに気付けるようにする。</p> <p>【発表・観察】</p>
		<p>・地域の消防署の方のインタビュー映像を視聴する。</p> <p>・前時と同じ資料を提示し、〇〇市で火事の発生件数が少なかった年度があったことを確認する。</p> <p>・学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元を貫く課題 火事からまちを守るには、誰のどんな努力が必要だろう。</p> </div>					<p>○ 態①：インタビュー映像を「私達（消防士）だけでは火事からまちは守れない」というところで切ること、自然に疑問をもち、主体的に探究しようとする態度を引き出す。</p> <p>【観察・発言】</p> <p>◎ 態①：インタビュー映像を視聴して疑問に思ったことから、火事からまちを守るには、消防士の存在とどんな力が必要なのかを予想しながら学習問題を設定している。</p> <p>【ノート】</p>	
2	2 3 4 5	<p>・火事からまちを守るために、どんな立場の人の努力が必要か話し合う。</p> <p>【ジグソー法による学習活動】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>火事からまちを守るために、まちの人はどんな取組をしているのだろう。</p> </div> <p>・消防署の消火活動や仕事を調べるグループと、学校の消防設備について調べるグループに分かれ調べ活動をする。 (自力解決およびエキスパートグループ活動)</p> <p>・異なる事項を調べた児童でグループを編成し、自分が調べたことについての説明を行う。 (プレゼングループ活動)</p>					<p>知①：調べ学習が進まない児童には、消防署の活動や消防設備の目的に注目するよう助言することで、消防署の活動や消防設備の大切さや意義について理解できるようにする。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>技①：調べたことを上手くまとめられない児童には、項立て済みワークシートを用意し、調べたことを書き込めるようにする。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>知①：消防署の消火活動や仕事、学校の消防設備の大切さや意義を理解し、まとめている。</p> <p>【ワークシート・発表】</p>	

2	2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> 消防署の待機の仕方や勤務体系を調べるグループと、地域の消防団や住民の取組を調べるグループに分かれ、調べ活動をする。 (自力解決およびエキスパートグループ活動) 異なる事項を調べた児童でグループを編成し、自分が調べたことについての説明を行う。(プレゼングループ活動) 本時のまとめをする。 <div data-bbox="255 683 758 828" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 消防署もまちの人たちも、火事を防ぐために様々な取組をして協力し合っている。</p> </div>	○	○	○	<p>知①：調べ学習が進まない児童には非番と休日の違いや、消防団が住民によって組織されていることを助言し、その意味や意義について理解できるようにする。 【ワークシート】</p> <p>技①：調べたことを上手くまとめられない児童には、項立て済みワークシートを用意し、調べたことを書き込めるようにする。 【ワークシート】</p> <p>知①：消防署の待機の仕方や勤務体制、地域の消防団や住民の取組の大切さや意義を理解している。 【ワークシート・発表】</p> <p>技①：消防署だけでなく、地域全体で火事からまちを守っていることを理解した上でまとめを書いている。 【ノート】</p>
6		<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をつかむ。 <div data-bbox="255 940 758 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 119番の電話はどのようなしくみになっているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 119番の電話はどこに繋がるかを予想する。 通信指令室からの連絡先の機関が、火災が発生した際にどのような仕事をするかを考える。 火事が起きたことを想定して、クラスの友達と通報や連絡のロールプレイをする。 本時のまとめをする。 <div data-bbox="255 1512 758 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 119番通報をすると、消防署や地域だけでなく、様々な機関に連絡が行き渡り、協力して早く消火することができる。</p> </div>	○	○	○	<p>思①：繋がる先が消防署しか浮かばない児童には、これまでの学習で消防署以外にも火事からまちを守る取組をしていたことを思い出させる。 【発言・発表】</p> <p>思①：連絡先の機関の仕事についてイメージできない児童には、その機関がなかったらどんな二次災害が起こるかを考えることで、仕事内容を捉えることに繋げる。 (例：ガス会社がガスを止めなかったら?) 【ワークシート】</p> <p>思①：通信指令室や各連絡先の機関の仕事の役割を、言葉や台詞などで表現している。 【観察・ワークシート】</p>
3	7 本時	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をつかむ。 <div data-bbox="255 1769 726 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 火事からまちを守るために私たちができることは何だろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 火事からまちを守るために自分ができそうなことを考えて、ホワイトボードアプリで付箋に書き出す。 	○	○	○	<p>態②：考えが浮かばない児童には、学校での避難訓練を思い出したり、家の人に協力をお願いしたりしてもよいことを伝える。 【観察】</p> <p>思②：地域社会との関連が実感できず、自分の考えをもてない児童には、自分の住む地域が火事になったらどうなるかを想像させること</p>

3	7	<p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで付箋を分類する。 「自分にできること」 「家族や大人の人に協力してもらうこと」 「地域の人と協力してできること」 単元の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り 火事からまちを守るには、消防署や他の機関、地域の人や自分たちが協力して努力することが大切。</p> </div>			◎ ◎	<p>で地域社会との関連を意識させ、自分がどのような行動をすべきかを考えられるようにする。</p> <p>【観察・ホワイトボードアプリ】 思②：地域の火事防止に自分がどのようなことで関わっていけるかを考えて付箋に表し、理由とともに表現している。</p> <p>【観察・ホワイトボードアプリ】 態②：これまでの学習を踏まえて、火事からまちを守るために自分ができることを付箋に表し、積極的に考えを伝えようとしている</p> <p>【観察・ホワイトボードアプリ】</p>
---	---	---	--	--	-----	--